

パネル展示を見て

1月 日 1ヶ月を見てると神戸新聞と書かれて
() いても見出しは京都新聞だからくやしさが
よく分かるなと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

色んな災害をみ返ると本当にたくさんの災害があり
日本が災害が多い国と呼ばれるだけあるなと思った。
災害が起ると新聞記者さんは心を痛めて
いて、命かけて写真をとるのも大変だし、心情に
ついて大変だなと思った。また、新聞作りも自分
の会社で作本なくて京都に手伝ってもらったけど
行く途中も命の危険があるのでいつでも死と
なりおそれだなと思った。

パネル展示を見て

1月 日 写真がカラーでも当時のことなどが
() 分かりました。また、写真を細かく見ることで
初めて知ったことが増えて良かったです。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて改めて神戸新聞社をはじめ、新聞
社の方たちはすごいなと思いました。自分のことで
精一杯ははずなのにみんなのことを考えて少しでも
はやく届けようとする力がとてもすごいなと思いました。
防災学習をすることで災害が減ることはないけど、
私たちがこうして防災学習をすることで少しでも被
害が減ったらいいなと思います。
被災者の方たちにとって少しでも情報が入ることで
安心できるなと思いました。

パネル展示を見て

1月 日 ろう下に貼られていた新聞は、当時の悲惨さを物語、いま
() した。日が過つにつれ、増えていく死者。その一方で最後の新聞
には、復興を目指す人々が写っており、神戸の力強さを感じさせられました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

震災学習を通して、当時の悲惨さや苦勞、そんな状況下でも立ち上が
ろうとする人々の努力を感じることができました。被害を伝える暗い
新聞から、復興の様子を伝える明るい新聞にしたことで、神戸の人は
とても勇気づけられ、復興への後押しにもなれたと思います。もし自分
も被災をして、その新聞を目にしたら、つらいことも乗り越えられるかもしれま
せん。避難生活でも、食料を分け合ったりして、支え合いながら生活してい
たことにも感動しました。困っている人がいるとき、お互いに助け合うことは
日常生活でもできるので、身につけていきたいと思います。今回学んだことをしかり
頭に入れて、震災がおこったときの防災・減災に役立てたいと思います。
神戸新聞社の皆さん、今回はありがとうございました。

パネル展示を見て

1月 日 時事新聞 続々と来て、きょうかかないと思、いま
() した。たんたんとなつたり、行方不明者が出てきてて
りしたから、いつたくなつたりしてもおかしくないと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

改めて、地は、怖いと思いました。なぜかというのでかい
地はが来るし、津波が来るし、建物がこわれたりするからです。
新聞記者の人は、苦勞して新聞を作成してスゴいと思います。
特に自然災害の時です。休む暇もなく、毎日作成してい
るのはスゴいと思いました。いろんな自然災害
は、防ぎたいけど、防げないから、被害がなくなるように、緊急
バッグを持っていつでも生き残るようになりたいと思います。
地はにたいしてかぎらず津波や、いろんな災害に、命をけ
たいと思います。

パネル展示を見て

1月 日 パネル展示を見て、当時の神戸の悲惨さや、
() 大変さがよく伝わってきました。まるで神戸の
町とほまったくの別物のようでした。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

地震はいつ、どんな規模のものがくるのか分からない
から、にげることもできないのですごく怖いものだな、と思
いました。津波や土砂くずれ、地震、台風などがきても
休むことなく、必死で市民のために新聞を作り続
けた神戸新聞社の方々がすごくかっこいいと思います。
大きな災害の1つ1つに人々の思いがこもっている
のでこれからも忘れてはいけないし、伝えていか
なければいけないと思います。私たちにできること
はたくさんあるのでもし災害が起きたら誰かのた
めになれたらいいな、と思いました。

パネル展示を見て

1月 日 パネル展示を見て始めは被害小情報だった
() 記事が「生きるな」との明るい記事になって
いているのを見て被災者の目かけになったと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会を終えて、いろんな災害について知る事
ができました。今までにあんな災害についてよく知る事
ができました。震災で神戸がどんな被害にあっ
たのかも知る事ができました。1つ1つの震災について
知る事ができたのでこれからどんな支持したい
方がいいのか、どんな行動かをとればいいのかなど考え
よと思いました。
神戸新聞社についてとても勉強になりました。新聞のため
に写真をとり続けた事を知ってすごいと思いました。

パネル展示を見て

1月 日 当時の状況が現場でおこっている
() ことがよく分かった。当時の人々は
どのような生活をしているんだろうかなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

神戸新聞は、たくさんの苦難をのりこえて写真もと
たり取材したりしているんだなと思いました。朝から
夜まで働いて、神戸市民に届けて、また朝から
働いて、とても大変だと思うけれど、そんな中
でも働いて、とてもすごいなと思いました。当時、大
変だ。たときでも取材して写真とてそれをまとめて
また取材してをくり返して毎日やるというのは、しん
どいけど、そんな中でもできるのは、すごいなと
思いました。

パネル展示を見て

1月15日

(年) ページが少なかつた分、しっかり内容がっついていて、
見出しが明るい方が読者がよろこぶと思う。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

ぼくは地震などの大きな自然災害を体験したこ
とがないので講演会を聞いて被害にあつた
大きさなどがよく分かった。

神戸新聞社の人達は、大きな地震などにあつて
いるから色々な人の事を考えて新聞も書いてい
るのではないかと思つた。

自分は新聞を取ってゐなくてほとんど見たことか
なかつたので、パネルをみてページがすくなく
のりこえてもわかりやすかつた。

パネル展示を見て

1月 日 どんどん悲しい見出しから元気になるような見出し
() しに変わっていきよかったですと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

新聞社の仕事は地震が起きたときでも取材をして、とてもしんどいなと思いました。でも一枚でも多く新聞を被災者の方に届けることができ、そして、みんなを笑顔にすることができるともいい仕事だなと思いました。

地震はいつ起るかわからないのでとても危険だなと思いました。そして災害が起ってしまったときにどう対処するかをしっかりと考えておいて、被害を少しでも少なくすることができるよう成長したいと思いました。

パネル展示を見て

1月 日 死者の数がとんとん増えていて心が苦しくなり
() した。でも、暗い記事ばかりだったのが、明るい記事になって
いてここから復興していくんだなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

新聞を作ると分かったことで、こんな場所が危ないとかこんな災害があったということを教えてくれて、大きな災害を経験していない私にとっては知らないことばかりでした。新聞社内の写真を見て、こんなゆちゃくちやなのに新聞を作ろうとしてすごいなと思いました。

私は何度か災害の学習をしていますが、今回の学習ではより具体的に知る事ができました。知っただけで終わるのではなく、いつか来る大災害にそなえて神戸で大地震があったことを忘れないようにします。

パネル展示を見て

1月15日 読んで小布い新聞からとても明るく、元気になる新聞に
(金) かわっていた。「生きる」のやっほ、とても希望にあふれた、
きいて、心があたたかくなりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私は、家で新聞をよんでいる。そして、よく新聞を読みまわすか、書いた
人の気持ちも、あり考えたことがありまわす。1月17日のあの日、新聞
社の方もおくめ、全員が被害にあいました。身近な人がなくなったり、
親しい人がなくなったり。しかし、そんな時でも、情報を求める人がいるの
で、自分の思いをのせて、新聞を作っていたと思います。それまでずっと
ことだと思ひます。自分の仕事に、誇りを持って、人のために行動できる、私
もそんな大人になりたいです。そのために、今から、まゆらげを
うて、行動すること意識し、相手のことを思ひやるようにしたい
です。

パネル展示を見て

1月 日 地震が起。てすぐ、神戸の人に情報を伝えよう
()取材をして、写真をとって、ページは少ないけど、多くの人
安心できる新聞を作ったこと、とてもすこいなと思ひました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私たちは、実際に阪神・淡路大震災を経験していないから、
身近な人、たくさん人がなくなった悲しみをあまり感じる
ことができないから、神戸新聞社さんの記事や写真を見て
本当に大きな被害で、地震のこわさをあらためて
感じました。しかし、地震の被害だけじゃなく、人々の
助け合う場面、小さな幸せを感じさせる場面の写真も
あり、たくさんの方の力で、この神戸が復興したことを
すこく感じました。あの出来事を忘れず、後世に伝えていこう
と思ひます。

パネル展示を見て

1月15日 はってあったパネルは震災が起きて1週間は
(金) 死者のこと、悲しいことかかっていたけど、そのあと
からとて前向きな新聞で「頑張ろう神戸」が1番印象に残りました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

日本初の直下型地震だけじゃあんまりにも大規模な地震だ
ということが分かりました。地震は年に何回もおきている
けどいまの科学では予想できないことも分かりました。
この講演会の新聞を見て、記者の人から前向きな新聞
を作ろうとしているのが伝わってきました。
新聞社は地震直後倒れそうな状態だったけど
無事におなさんに新聞をとどけられたのがおど
ろきでした。やっぱりのってる紙面は少ないけれど
神戸のおなさんに届けることができた涙も流された
ぐらいの新聞をこの状態で作ることにできたのが感動
でした。貴重な時間をありがとうございました。

パネル展示を見て

1月 日 日が経つにつれて希望の言葉が大きく書かれていて
() 自分自身が被災者の立場になった時に、すぐ安心するし、神
戸新聞社さん達の新聞で生きようと思えた人を見て、新聞の存在は大きかったのでは
ないかと思っ
ました

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

地球に住んでいると、さまざまな災害が起きて、それを止めるというの
は不可能だけど命を守るために自分達で対策をしたり、災害の
知識を身に付けたりすることが、大切なんだとわかりました。
そしてもし今地震が起きた場合、コロナウイルスに感染してま
なる方も多くでると思うので、防災グッズにマスクやアルコール
消毒を忘れないでおこうと思いました。阪神淡路大震災で大変
なときでも情報を伝えようと働いていたのを聞いて、新聞記者や
新聞社の頑張りが、すばらしくて、すごく尊敬できたし、私も将来そんな
ふうに心から一生懸命に働ける仕事を見つきたいなと、今回思っ
ました。そして情報や知識を得るためにも新聞に興味が湧きました。

パネル展示を見て

1月 日 本物ではないけれど、当時の必死さやその時に
() 起こった大変さは何かが伝りました。いかに震災が人に
大きな影響をあたえ、人の身をほろぼすのかも知れました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

今まで災害や防災についての学習では何があって何を行っていた
かというところばかりに触れてきました。なので新聞が被災地
などに配られたということは知っていても、その新聞がどのような
道筋で作られていたのかということは全く知りませんでした。
また一つ、違う方向から震災について知り、考えを深められた
と思います。そして、講演会では当時の新聞社の貴重な
お話を聞かせていただくことができ、何か胸にグッとくるもの
がありました。改めて防災・減災について私たちに今、出来ること
は何だろう、私たちが今、しなければならぬことは何だろうと
考えることができました。次に備えて、今から行動したいです。

パネル展示を見て

1月 日 新聞の内容がなぜかわたりがあためで見ると
() はげますためにかえてたのがすごい思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

家などがくずれ苦しいのにみんなで気合をいれて神戸を
復興させようとしていて、新聞社の人ともよくお話しするのに
みんなのためにがんばる取柄だとすごくいい思いました。
今の人とも悲しいけど苦しいのに途中で写真や取材などを
とってみんなに情報をとどけるためにあきらめているのがすごい
思いました。ほくも私お人になるためにがんばりたい
思いました。

パネル展示を見て

1月 日 _____

() _____

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

・新聞をつくるというのはカメラマン、文をつくる方、
写真と文を構成する方、新聞をくばられる方、など
たくさんの方の力で新聞がつけられているのだ、など
思った。

・地震というのは、すごく怖いことだけれど、みんなで
協力をして復興をしていくというのは、すごいことだ
などと思った。

パネル展示を見て

1月 日 改めて見てみると、今じゃ考えられないような、

() ひげんな神戸の姿があって、おとろいたのと、地震に
対するこわさが深まったので、今の神戸の姿をこれからも守りたいと
思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私が知ってる、大きな災害といえば、「阪神淡路大震災」
だったけど、他にも、液状化、噴火、など、聞いたことは
あるけど、実際にそれが起きてるのかと思うと、こわくなり
ました。そして、神戸新聞社さん達が、命をかけて撮った
今じゃ考えられないような悲しい神戸の姿を見て、新聞の力
って、すごいんだなと思いました。それから、新聞社で働いて
いる人達に対する尊敬の気持ちがあふれてきました。

今まで私にとって、新聞社、というのは、情報を提供する
仕事だと思っていたけど、それ以外にも、読者を安心させる
ことも、できるということに、新しい新聞社という仕事の魅力
が、よくわかった。

パネル展示を見て

1月 日 パネルの写真が多くはてあった所に上半身裸になっている
() 方がいて水を浴びていて、今は臨時的な銭湯
があるけれど、阪神・淡路大震災のときはないから、シャワーみたいな感じで
水を浴びていたのだなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会では元々阪神・淡路大震災じゃなくて、阪神大震災
で、淡路の方が、淡路でも被害が出ているから、淡路の名も入れ
てくださいって言って、今の名前になったのは初めて知
りました。

地震はゆれるだけじゃなく、二次災害の津波や液状化現
象など、そういったことで命を落として(もう方もいるので、もし
自分が災害にあたるときはガスを消したり、避難場所を家族で決
めて、集合したりなど準備として出来ることは今のうちに
やっておきたいなと思います。いざドマツなどを見て、家族と
相談したいと思いました。

パネル展示を見て

1月 日 今でも地震があったことを知る場所がたし
() さんあることを知ったので、また、行ってみたいです。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

被災は人選は本当に不安な気持ちでいらはいただたと思います。
それでも前を向いて歩き続けるところを聞いて人間の本当の強さ
を感じました。

そしてそれをたえんしている人に人間の本当の優しさを感じました。

これからもこんな地震があるかもしれないけど、

且かけ合って強く生きていきたいです。

そして、災害一つ一つから学び、いつかはどんな災害が起きてもケガし
死者をたさせない。そんな世の中にしていきたいと思いました。

パネル展示を見て

1月 日 実際には作られた新聞などがあまり目立たない。人が
() 増えてきているんだなと思いました。そして、
京都新聞の人たちと協力して1つの新聞を作っているなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

ガラスの窓もおさえたり、地震のとき大変だったのに、
みんなしてやる人たちのおかげで物々情報をおくる
ため、しゅざりをしてもらっているんだよ、など、教えてもらい
とても驚きました。フロアするとき、みんなとるとき、なにを
気を付けなければいいか、何を持たなければいいのかなど
分からなかったけれど自分が調べたのと教えてくだ
さったことで、とてもよく分かりました。いろいろな災害、など
をくわしく教えてもらい、分かりやすか、たし知らな
か、た災害までくわしく、いろいろなことを教えてくだ
さり、ありがとうございました。

パネル展示を見て

1月 日 日が経っていくうちにどんどん新聞が今のものに近づいてい
() てすごい復興だなと思いました。新聞社がつぶれて機械類が
壊れてもつくるのをやめたが、気持ちや読者側はとても嬉しかったと思います。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

私はこの学習を終えて学んだことがたくさんありました。実際に来て話をしてくだ
さった方から本当に悲しかったことだったのだなと感じられました。私
は体験していません。教えてもらったことが分からなければ、今住んで
いる神戸で起こったことなのでもっと知って減災ができればいいなと思っ
ます。神戸新聞社が地震でつぶれたとしても、新聞をつくることをやめた
が、あなたへ私はとても尊敬しています。一番最初につくられた夕刊は確かに
いつものと比べると全然違っていました。一生懸命つくっているんだというのが
感じられるなと思いました。七くな、てしす、あなたはとても99いけれど、今の
神戸を見かるととても変わったんだと実感できます。体験していないのに「しあ
わせはこぼるように」を歌うときはいつも頭に教えていた大切なものが思い浮かび

パネル展示を見て

1月 日 死者数を記されていたら、自分も不安になるけど、
() 希望を持てる記事だと、自分も勇気が持てるぐらい
よい響があることを知った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

・震災当日は、みんな辛い思いをして、たし思うけれど、被災者のみ
人で力を合わせて前向きにな。そーに新聞社よりそーことで家族
や知人が亡くな、た人でも明日を生きる力を付けられるいにか人間のすはらしさ
や力強さのーつたと思いました。

・新聞社で聞くと「ニュースを記事に書いている」ということだけが
最初に思いつくことが多かったけれど、実際に現場に行き、
取材をして独自の写真をと、し作文の様な量を書いて推敲して…
数え切れないほどの工程で新聞が出来ていることを知って、新聞を
一ページ一ページ詳しく見ていきたいと思いました。

パネル展示を見て

1月15日 最初の新聞は被害の大きさを亡くな、た方の人救なことが書かれて
(金)いたけど、ほんせし、明るい声か書かれていてとても感動した。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

僕はこの地震学習を終えて思、た事がたくさんあります。実際には、休馬してませんが
この授業を通じて心にも響きました。僕はサッカーをしています。練習場所は
主に王子スタジアムです。た分王子スタジアムも被害かとても大きかたと思、
ま、でも、今、はつうに、当たりのように使えてる、事が、とんだは、あり、か、一、事、か、と、も
感じました。僕の恩返しは、このスタジアムで、精一杯、一生懸命がんばる
事だと思、ま、は、この地震の事は、け、は、た、忘、れ、て、は、い、け、な、い、この重
重な経験を生かし、色んな人に広めてい、ま、た、い、今、でも、地震で、苦
しい思いを、ま、わ、て、い、る、ま、い、る、と、思、う、ウ、ル、セ、ル、神、戸、い、う、サ、ッ、カ、ー、チ、ム、で、感、動、を、
与、え、希、望、に、し、ら、ら、い、た、い、僕、に、出、来、る、事、は、今、出、来、る、事、を、精、一、杯、全、で、
お、事、だ、と、思、い、ま、し、た、。

パネル展示を見て

1月 日 パネル展示では今までに起きた災害の写真が、よく
() 印象に残っています。ホトで救助している写真などは「助け合い」
という観点などで、はく力がとてもあったなと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

講演会では阪神淡路大震災が起きた時の新聞社の方々が、
とった写真であたり記録であたり、一つ一つが、とても、はく力が強か
たなと思いました。

また、コロナ対策をする、ひなりの仕方も、教えていただき、改めて、
ひなりリュックの点検をしようと思いました。

自分の命、周りの命を守る、が、私たちの未来を明るくするため
に、できることだと、改めて、思いました。

震災で被災している新聞社の方々が、自分たち以外に被災
されている方を想って、新聞をつくり続けた、ということに、とても感
動し、このお話を聞いて、本当に良かったなあと心から思いました。

パネル展示を見て

1月 日 カラーだったので、より鮮明に当時の被害の様子
() がよく分かった。橋が壊れたり火災で焼きつくされ
るなど、今の神戸ではありえない状況だったので、とても驚いた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

震災に関する記事や報道はこの時期になると
よく目に付ければ、自分が経験していなかったこと
だったので、おぼろしく読むことがなかった。けれども、
小学校の時に合唱団で歌ったことや、祖父母の話が
風化させてはならないことだと強く感じた。今回
の防災学習での講演会やパネル、当時の新聞記事を見
て改めて、神戸に生かす人間として生かさないよう
にしようと思った。また、新聞記者が怒鳴れろのを覚悟
で、シャッターを切ったというのが、よく印象に残った。どんな
時でも走り回る記者は、とてもだいと思った。

パネル展示を見て

1月 日 当時は新聞を作る事はとてもむずかしかった
()と思うけど、怒鳴られながらも写真をとり、新聞を
作りあげた事はとてもすごい事だと思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

地震で建物がくずれたり、火事がおきている中いち早く新聞
をつくらうとした事に神戸新聞すごいと思いました。「怒
鳴られながらカメラのシャッターを切った」という言葉に当時
の大変さが伝わりました。地震がいかに台風や津波
火山の噴火、土砂くずれなどたくさんの自然災害がありま
す。いつおこるか分からない自然災害はなくす事はできな
いけど、それをそなえる事はできるので、防災グッズなどは
必要だと思いました。もし、災害がおきて誰かが困ってい
たら、助けられる人になりたいです。助け合いは大切だと思
いました。

パネル展示を見て

1月 日

() 震災の恐怖、被害、が一面で分かりました。そして、
だんだんと復興の光が見えてきたという一面は、被災者へのはなま
しのエールというのが、伝わってきました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

日本は災害の多い国、火山噴火や台風、大雨、大雪、地震など
さまざまな災害があり、多くの犠牲者が出ました。
しかし、そのたびに学ぶことがあります。災害から学ぶことが
大切だと、僕は初めて知りました。このような状況の中
新聞記者として自分の身をそこに置き、僕たちに情報を
伝えてくれる新聞社の仕事を、改めて尊敬します。
今回は来ていただきありがとうございます。

パネル展示を見て

1月 日 色々な災害の様子が分かった。あまりニュースには
() ならないが兵庫でこんなに多くの災害があったと知り
おどろいた。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

災害とはどのようなものなのかや、主要な災害の様子について知
ることができた。私はあまり新聞を読まないからよく知らな
たが、被災している中で新聞などのメディアの情報はより一層
大切になってくるんだと分かった。また、感染症という自然災害
のなかでどのように行動するべきかや、地震などで避難す
る際の避難所での感染予防のための過ごし方が改めて分か
た。そういう状況のとき、正しく判断し、行動できるようにしたい。
被災している中、希望を見つけて過ごすことで、未来へと進んでいけ
るんだなと思った。阪神・淡路大震災のことを忘れずに、後へと
つながっていきけるようにしたい。

パネル展示を見て

1月15日

(金) 神戸の復興についてかかっているものなど、震災で
つらいときに目にすると、希望を持つような内容がとても心温まりました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

実際にその現場にいた方に直せつ話を聞いて、
鮮明にそのきおくを私たちに伝えて下さりありがとうございました。
私たちもいつかは地震を体験することが必ずあると思います。
そんな時に、地震のための防災を知っておくのがとても
大切だと思います。また、新聞社の方が震災後すぐ
情報がないうちでつらかった新聞がたくさんの人の心の
支えになって、今につながっていると思うと、
神戸新聞社の方におたいに、震災を忘れないで、
伝えていきたいなと思います。

パネル展示を見て

1月 日 阪神・淡路大震災 は、とてもおそろしい
() ものということが分かった。火災も大変し地震
だけでなく)

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

新聞記者の人々は、現場の写真を撮ったりするのは、
大変で苦いと思うけど読者の人々のために、と思って
できるのはすごいことだな、と思った。災害はおそろしいけど
学習する部分も多いので、災害から学びたい!!
新聞は暗い記事ばかりだと読みたいと思えない
だから、明るい記事が多いと、ありがたい!! と思う

パネル展示を見て

1月15日 いつもの町が、すごくボロボロにな
(金) っていて、すごかった。今にいたるまでに、
すごく工事とかがあったんだろうと思った。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

いろいろなピンチを乗り越えた。三好さんから
話が聞けて、すごく良かったです。
災害はいろいろな物がある事を知った。地震
が起きたら、他の災害津波土砂くずれなどが
起きてしまって、負の連鎖になってしまうので、
それにどう対応するかをと思いました。
災害は止められないので、家を強くしたり
道路を強くしたりしてやるだけ、被害を、少な
くしていくように、工事が、必要だと
思いました。

講演会を終えて (防災学習に関する感想と新聞社の仕事についての感想を入れよう)

新聞社の社員は災害があっても新聞を作るというの
かすごいと思いました。ほくもそのような大人になり
たいです。もし地震が起きたらまず自分の身、家族の身の
心配をします。ほくも将来このような人のためになる
仕事に就きたいです。これから生きていくなかでまた
このような地震があっても神戸新聞は発行し続けるん
だろうと深く思いました。